

## 令和3年度 再々評価点検表（内部評価）

### 1 事業概要

事業名	淀川水系如意谷支溪通常砂防事業		
担当部署	都市整備部河川室河川環境課砂防グループ（連絡先 06-6944-9302）		
事業箇所	箕面市如意谷		
再々評価理由	・再々評価実施後5年間を経過した時点で継続中		
事業目的	当該事業は、土砂災害から、府民の生命・資産を守るため、人家等に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある溪流について、砂防施設の整備を促進し、土石流等の土砂災害に備えるものである。		
事業内容	砂防堰堤工 1基 堤高 H=10.5m 堤長 L=41.1m		
事業費 ( )内の数値は 前回評価時点のもの	全体事業費：約2.5億円〔国：1.25億円、府：1.25億円〕		
	(内訳) 調査費等約0.2億円 用地費 約0.3億円 工事費 約2.0億円	【工事費の内訳】 砂防堰堤工 約2.0億円	
事業費の変更理由	変更なし		
維持管理費	除石費用(50年間) 約0.3億円 (近年の維持管理の実績を基に算出した)		

### 2 事業の必要性等に関する視点

	事前評価時点 H18	前回評価時点 H28	再々評価時点 R3	変動要因の分析
事業を巡る社会 経済情勢等の変化	○災害発生の危険度 人家等に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある溪流について、砂防設備の整備を行い土石流等の土砂災害に備える。  ○保全対象 人家戸数 18戸 幼稚園 府道 40m	○災害発生の危険度 人家等に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある溪流について、砂防設備の整備を行い土石流等の土砂災害に備える。  ○保全対象 人家戸数 85戸 市道 436m	○災害発生の危険度 人家等に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある溪流について、砂防設備の整備を行い土石流等の土砂災害に備える。  ○保全対象 人家戸数 85戸 市道 436m	前回評価時から変動なし

	事前評価時点 H18	前回評価時点 H28	再々評価時点 R3	変動要因の分析
地元等の協力体制等	要配慮者利用施設の対策として地元市の協力を得ている。			当該溪流については地元より強い対策要望があり、地元及び市において事業の協力を得ている。
事業の投資効果 <費用便益分析> または <代替指標>	[効果項目] 人命保護 家屋被害軽減	[効果項目] 人命保護 家屋被害軽減	[効果項目] 人命保護 家屋被害軽減	土石流対策事業の費用便益分析マニュアル改定に伴う算出方法変更に伴う減。
	[分析結果] B/C=11.61 B=26.46 C=2.28	[分析結果] B/C=22.48 B=54.40 C=2.42	[分析結果] B/C=22.09 B=53.68 C=2.43	
事業効果の定性的分析 (安心・安全、活力、快適性等の有効性)	[算出方法] 国土交通省河川局砂防部 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル」 (平成12年2月)	[算出方法] 国土交通省水管理・国土保全局砂防部 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル」 (平成24年3月)	[算出方法] 国土交通省水管理・国土保全局砂防部 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル」 (令和3年1月)	
	[受益者] 土石流危険溪流被害想定区域内住民及び施設管理者	[受益者] 土砂災害警戒区域内住民及び施設管理者	[受益者] 土砂災害警戒区域内住民及び施設管理者	
	[効果項目] 土砂災害による被害の軽減が図れる。 災害時要援護者施設である幼稚園を保全し、地域の安全・安心を図る。	[効果項目] 土砂災害による被害の軽減が図れる。	[効果項目] 土砂災害による被害の軽減が図れる。	

	事前評価時点 H18	前回評価時点 H28	再々評価時点 R3	変動要因の分析
事業の進捗状況 ＜経過＞ ①事業採択年度 ②事業着工年度 ③完成予定年度	①H19年度 ②H19年度 ③H25年度	①H19年度 ②H19年度 ③H32年度	①H19年度 ②H19年度 ③R8年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政再建プログラム（案）による建設事業費削減の影響及び現地地形の精査に伴う堰堤計画の見直しにより事業が遅れている</li> <li>・H29年度において所有者不明土地が複数存在していることが判明し、所有者の特定に時間を要しており、事業が遅れている。</li> </ul>
＜進捗状況＞	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体 0% (0.0億円/2.5億円)</li> <li>・用地 0% (0.0億円/0.3億円)</li> <li>・工事 0% (0.0億円/2.0億円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体 8% (0.2億円/2.5億円)</li> <li>・用地 0% (0.0億円/0.3億円)</li> <li>・工事 0% (0.0億円/2.0億円)</li> </ul>	
事業の必要性等に関する視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政再建プログラム（案）による建設事業費削減及び現地地形の精査に伴う堰堤計画の見直し、また、平成29年度において所有者不明土地が複数存在していることが判明し、所有者の特定に時間を要しているが、事業の必要性について変わらないため、継続する。</li> </ul>			

### 3 事業の進捗の見込みの視点

事業の進捗の見込みの視点	<p>建設事業費削減及び地形条件に伴う現地地形の精査に伴う堰堤計画の見直し、また所有者不明土地における権利者の特定に時間を要したため事業に遅延が発生した。堰堤計画については策定が完了し、また、土地の権利者についても概ね特定することができたため、今後事業についても進捗が見込まれることから、事業を継続する。</p>
--------------	--

### 4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	<p>土石流の危険を回避するためには砂防堰堤の設置が必要不可欠であり、コスト縮減や代替案立案等の可能性の余地はないため、事業を継続する。</p>
---------------------	--

### 5 特記事項

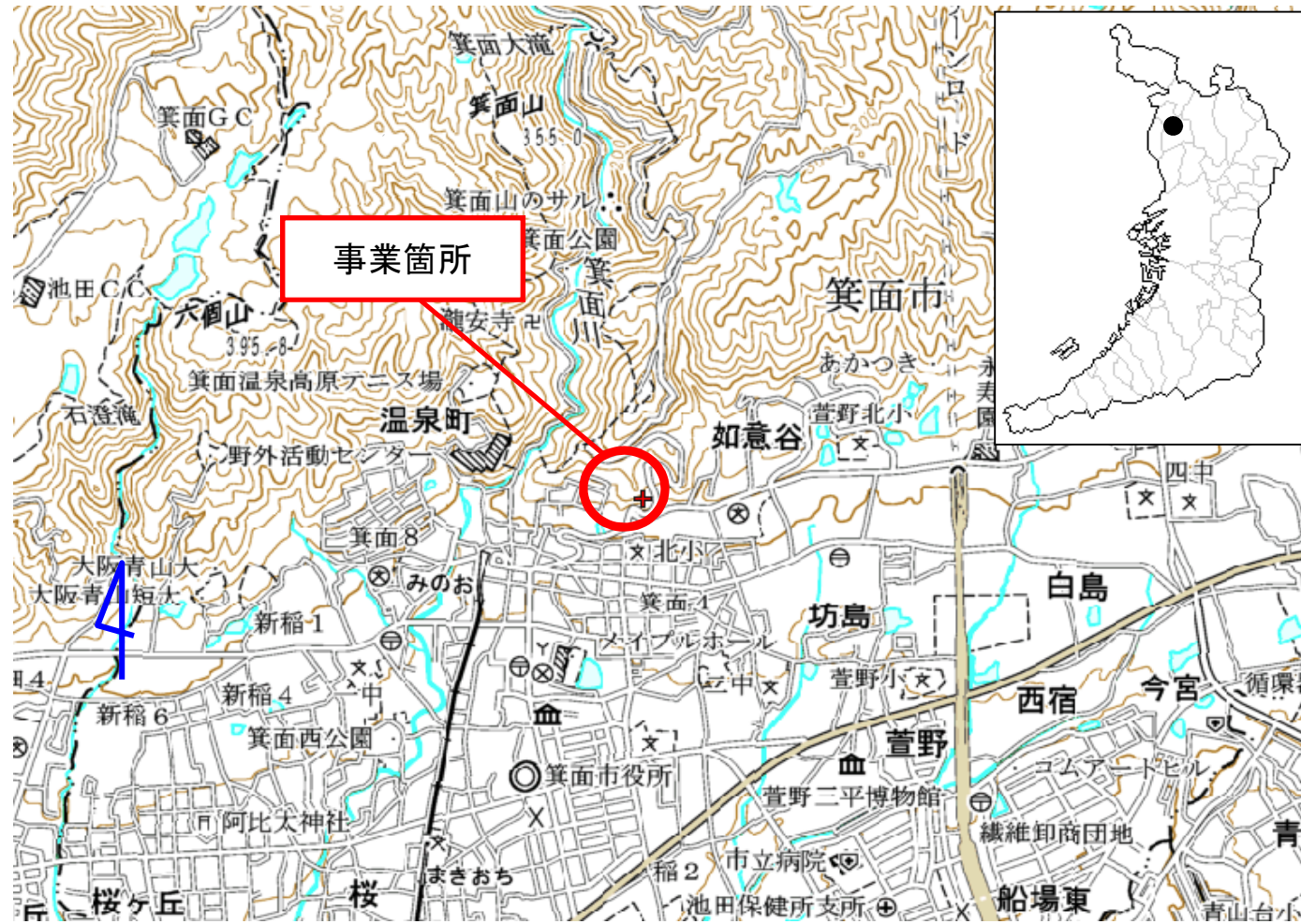
自然環境等への影響とその対策	<p>砂防堰堤の施工において建設地の植生を傷めてしまうこととなるが、その範囲を最小限に止め、自然環境への影響を極力軽減する。一方、砂防堰堤が完成すれば、溪床、溪岸の侵食が防止されるため、堆砂敷より上流の樹木を保全できる。</p>
前回評価時の意見具申（付帯意見）と府の対応	—
上位計画等	<p>【上位計画】 大阪府都市基盤整備中期計画（R3.3）</p>
その他特記事項	—

### 6 評価結果

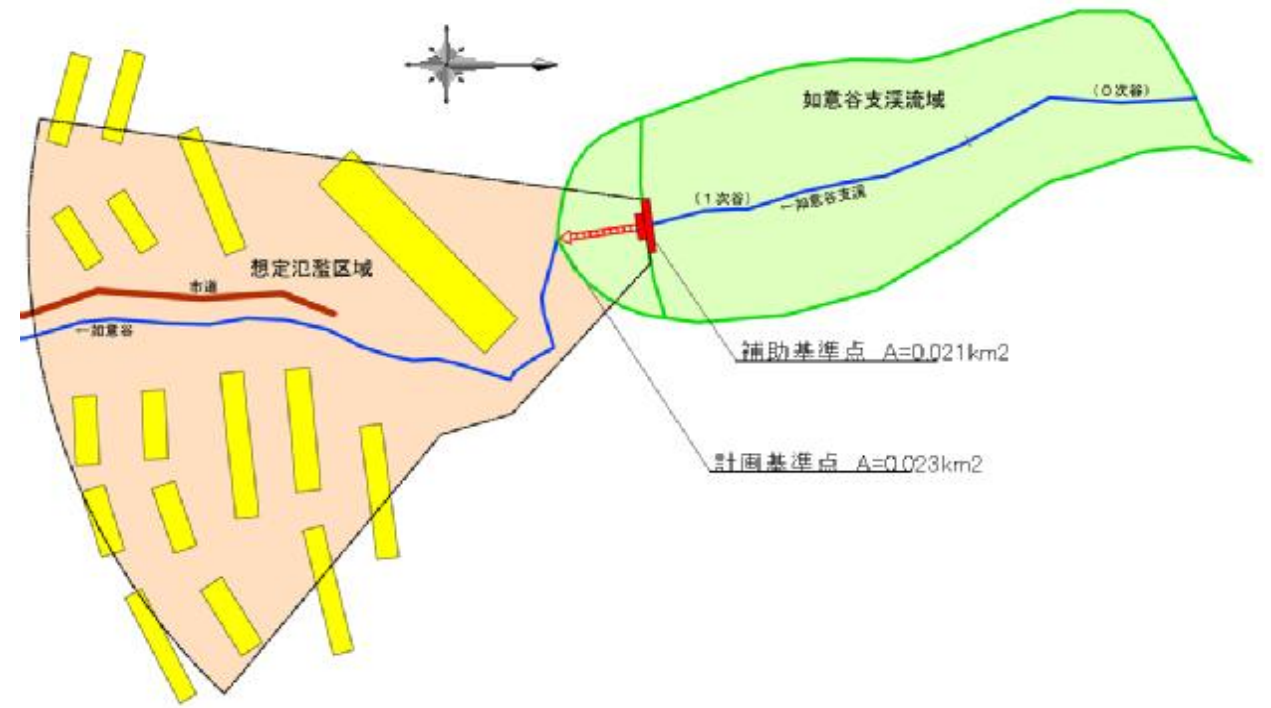
評価結果	<p>○事業継続 ＜判断の理由＞ ・当初の計画より進捗は遅れているが、事業の必要性は変わらないため、事業を継続する。</p>
------	--

令和3年度 再々評価（淀川水系如意谷支溪通常砂防事業）

事業箇所図



平面図



現況写真



標準断面図

